

仕様書（気管支ビデオスコープ一式）

別紙1

【機器構成内訳】

品名	数量	単位
気管支ビデオスコープ	1	式
（構成内容）		
気管支ビデオスコープ	1	本
内視鏡ビデオ情報システム	1	個
コンパクトトロリー	1	式
24型LCDモニター	1	個
LCDアーム	1	個
SDIケーブル	1	本

【調達物品の備えるべき技術的要件】

（性能及び機能に関する要件）
1 気管支ビデオスコープについて以下の要件を満たすこと。
1-1 操作性
1-1-1 外径先端部外径4.9mm、軟性部外径4.9mmでCOMSイメージセンサーにより高精細な画像観察ができること。
1-1-2 鉗子チャンネルを太径化（2.2mm）にしていること。
1-1-3 スコープスイッチを有し、フリーズ、リリース、周辺装置のリモート操作が可能であること。
1-2 観察性能
1-2-1 COMSイメージセンサーによりノイズの少ない高精細な画像観察ができること。
1-2-2 挿入部回転機能を採用していること。
1-3 画像強調観察
1-3-1 本院に既存の内視鏡システムと互換性があり、狭帯域光観察ができること。
1-4 安全性
1-4-1 高周波を利用したの内視鏡的処置を行うための高周波漏洩電流対策がとられていること。
1-5 洗浄性
1-5-1 吸引バルブ、鉗子栓は単回使用であり、消毒・滅菌は不要であること。

1-6 防水性
1-6-1 ワンタッチコネクタを採用し、防水キャップ着脱が不要で、手軽に洗滌・浸漬消毒が可能であること。
2 内視鏡ビデオ情報システムについて以下の要件を満たすこと。
2-1 カラー撮影方式
2-1-1 画順次式と同時式の2つの内視鏡撮影方式に対応し、5色のLEDを搭載していること。
2-2 互換性
2-2-1 本院の既存機器と互換性があること。
2-3 画像強調観察
2-3-1 NBI (Narrow Band Imaging) 観察が可能であること。
2-3-2 構造強調機能を有し、「テクスチャ強調」「色調拡張」「明るさ補正」の3つの要素を最適化することが可能であること。
2-3-3 遠点の明るさ調整機能を有し、本院に既存の機器との組み合わせで、遠景の明るさが向上する機能を使用できること。
2-4 操作性
2-4-1 タッチパネルを採用していること。
2-4-2 複数の機能を一度に切り替えることで、一操作で特定のシーンに適した観察状態にする機能を搭載していること。
2-5 映像出力
2-5-1 4K対応可能な12G-SDIの映像信号出力を有しており、4K対応LCDモニターと組み合わせることで解像感のある映像を出力できること。
2-6 周辺機器のコントロール
2-6-1 各種周辺機器のコントロール機能を有しており、リモート操作ができること。
2-7 ポータブルメモリー
2-7-1 ビデオプロセッサには専用のポータブルメモリーが付属しており、内視鏡画像（静止画）、外部入力画像（静止画）、各種設定値の保存・読出しができること。
2-8 照明ランプ
2-8-1 Violet、Blue、Green、Amber、Redの5色のLEDを搭載しており、WLIにおける赤色の再現性があること。
2-8-2 LED光源を採用していること。
2-9 安全性
2-9-1 サイバーセキュリティモードを有し、「患者情報の漏洩や改ざん」、「不正なアクセスや操作」を防ぐことができること。

3 コンパクトトロリーについて以下の要件を満たすこと。
3-1 寸法
3-1-1 高さは1100mm以下（スコープハンガー最高位置時は1750mm以下）、奥行は700mm以下、幅600mm以下であること。
3-2 モニター位置
3-2-1 変動式LCDアームによりモニターの可動域があり、見やすい位置にモニターを移動できること。
3-3 ケーブル収納
3-3-1 背面側のケーブルの収納ができること。
3-4 トレイ
3-4-1 最上段トレイは検査時にはワークスペースとして活用できること。
3-5 その他
3-5-1 底面に絶縁トランスを装備すること。